

スプレーガラスコーティングでクール革命

太陽光の明るさは通し、暑い熱とUVを窓ガラスがブロック

国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社フミン（福島県福島市、代表取締役八木澤勝夫）が提案する「伝導性金属酸化物のガラスコーティング技術を活用した省エネ化・温暖化抑止のためのODA案件化調査」を採択しました。

タイ国、とりわけバンコクでは気候変動問題対策への取り組みを積極的に行っている。温室効果ガスの排出を削減するため、ガラス面に赤外線や紫外線を吸収する伝導性金属酸化物をスプレーガンで斑なく透明に塗膜を形成し、太陽光線の室内で感じる暑さを低減することで空調設定温度を上げCO2削減に貢献する。公共施設から塗布し民間施設へのビジネス展開を図る。



この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査2015年度第2回公示の採択結果について

URL：http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 東北支部 高橋(担当)
TEL 022-223-4772 e-mail: Takahashi.Hiroaki@jica.go.jp